

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第214号

令和6年9月14日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：046-222-6370

「青少年のための科学の祭典 2024 神奈川大会」 特集号

「青少年のための科学の祭典」は、理科、数学や科学技術といった分野の実験や工作を一同に集めて来場者を楽しんでもらう参加者体験型のイベントで、全国大会が毎年夏休みに開催されています。「神奈川大会」は平成18年度から青少年センターで開催してきました。

今年度も8月11日(日曜日)に青少年センター(横浜・紅葉ヶ丘)を会場に「青少年のための科学の祭典2024神奈川大会」を開催することができました。

当日は晴天の中、**1,342名**(子ども647名、大人695名)の来場があり、昨年度の倍以上の方にお越しいただきました。また、協議会員を始めとする109名の出展団体関係者に加え、27名の高校生科学ボランティアの協力により、20のブースを出すことができ、来場者が笑顔で科学工作や科学体験に参加している姿を見ることができました。

アンケートの結果からも昨年度以上に多くの来場者が満足してくれた様子が伺え、とても充実したイベントにすることができました。ご参加いただいた皆様、そして出展団体の皆様に感謝申し上げます。





10時の開場前に300名を超す来場者が列を作っていました。暑い中、昨年度より多くの方が集まってくれました。インターンシップ実習生が整列・誘導に奮闘していました。



インターンシップの大学生・高校生の活躍で、受付も混雑なく、スムーズに来場者を迎え入れることができました。用意した実験解説集がすべてなくなるほどの人出でした。



① **名探偵きんぎょくん ～科学者たちへの挑戦状～**
 平塚市立金旭中学校
 中学生による実験ショーで、参加者も実際に糸電話を体験することができました。



② **-火薬を使わない- 新・線香花火を作ろう**
 線香花火同好会
 火薬を使わない線香花火を作り、屋外のテント内で火をつけて、火花が出る様子を観察しました。



③ **研究者と一緒にスライムを作ってみよう!**
 WDB株式会社 エウレカ社
 参加者はせんたくのりやホウ砂水溶液を混ぜて、好きな色のスライムを作っていました。



④ **レインボウボックスで虹をみよう**
 サイエンスラボ30
 参加者は回折格子を使った簡易分光器の工作をし、虹のように色が分かれる様子を観察しました。



⑤ **太陽エネルギーと勝負!**
 NPO法人太陽光発電所ネットワーク・
 神奈川地域交流会
 来場者は手回し発電機を使って、太陽光パネルとの発電量を比較する体験を行いました。



⑥ **錬金術師に挑戦しよう**
 ～溶けないものを溶かしてみよう～
 吉坂 保徳
 お酢と油のように互いに混じり合わないものを混ぜるにはどうするかを、実験を通じて学びました。



⑦ 身近な動物で「動物かざぐるま」を作ろう

特定非営利活動法人 神奈川県環境学習リーダー会
動物かざぐるまを作り、身近な環境についての展示を見て来場者は環境について学ぶことができました。



⑧ 伊志田の実験ミュージアム

神奈川県立伊志田高等学校 自然科学部
参加者は葉脈標本の製作をしたり、高校生が製作した骨格標本の展示に興味深く見たりしていました。



⑨ 平工遊園地

神奈川県立平塚工科高等学校
子どもたちは高校生が製作した電子太鼓を叩いて花火を表示させる電子工作などの体験を楽しんでいました。



⑩ バランス人形をつくろう！

高橋 佳弘
机の端などに引っ掛けても落ちない、「重心」の性質を利用した人形の工作に参加者は大喜びでした。



⑪ 電波を使った暗号を解読せよ

紅葉ヶ丘無線クラブ
無線で送信されたモールス信号を聞き、暗号を解読する体験に参加者は熱心に参加していました。



⑫ マジック(みたいで)ショー

伊勢原市立子ども科学館
マジックみたいに不思議な現象をおもしろい解説付きの実験ショーで見ることができ、大賑わいでした。



⑬ チョー本格派、ドクターアキヤマと入浴剤を作ろう!!
 東海大学
 参加者が様々な食用色素やアロマオイルを使って入浴剤を作ることができ、大人気で長蛇の列でした。



⑭ 紙で作ろう(ブンブンコマとびっくりリング)
 公益社団法人 日本技術士会神奈川県支部
 参加者は「ブンブンコマ」と、輪ゴムの力で飛び出す「びっくりリング」を楽しそうに作っていました。



⑮ すっ飛びロケットを作って打ち上げよう
 公益社団法人 日本技術士会神奈川県支部
 スーパーボールの反発力を利用して、ストローで作ったロケットを飛ばす工作をし、勢いよく飛び様子に子どもたちはとても興奮していました。



⑯ 磁石を学ぼう(N極とS極、磁力線を見てみよう)
 公益社団法人 日本技術士会神奈川県支部
 砂鉄などを使って、磁石の様々な性質を体験するブースです。子どもたちは工作などを通して、磁石の性質について学んでいました。



⑰ おもしろ科学ひろば
 認定NPO法人 おもしろ科学たんけん工房
 針金を使った大人気の「くるくるリング」の工作で、多くのスタッフが配置されており、来場者もほとんど待つことなく体験することができました。



⑱ ういて まわせる おもしろマシン (UMO マシン®)をつくらう
 おもしろ実験・科学工作指導者セミナー修了生有志
 磁石を使った「UMO マシン®」の工作で、子どもたちに大人気でした。



⑱ 虹のこま

自然科学に親しむ会

回転させると虹のように見えるこまに、子どもたちがとても不思議そうな顔で体験していました。



㉓ 水と空気で撃ちまろう！(1)

青少年センター科学部

屋外のクスノキの広場に設置したブースで、子どもたちは、シャボン玉を目掛けて、水鉄砲を撃っていました。



㉔ 水と空気で撃ちまろう！(2)

青少年センター科学部

屋内では、空気砲を使って、紙コップの的を倒す体験をしました。



500名以上の方にアンケートに回答していただき、「5. とてもよかった」という回答が395名、「4. よかった」が140名、「3. 普通」が14名、2以下のよくなかったという回答は0名、満足度の平均が4.7と高い結果でした。

事務局から

新型コロナウイルスが5類相当になってから1年以上が経ち、様々なイベントで昨年度よりも参加者が増えてきていることを実感しています。この夏も、「青少年のための科学の祭典 2024 神奈川大会」を始め、「子ども科学探検隊」や「中高生サイエンスキャリアプログラム」、「カナラボ」など様々なイベントや講座を通じて子どもたちへの科学体験の場を皆様のご協力で実施することができましたことを改めてお礼申し上げます。

「子ども科学探検隊」や「中高生サイエンスキャリアプログラム」の様子を次回以降の協議会ニュースでお知らせしたいと思います。今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

(事務局: 奥村、山田、上田、山口)

